



山岡 幹雄 議員

稲沢三宅地区開発計画の影響

質問

稲沢三宅地区工業用地開発計画が進められて、現在10トントラックが1日に200台以上、県道給父西枇杷島線を通行している。この交通量の増加により、市はどのような対策を行っているか。

総務部長

教育委員会は、学校児童・生徒に対して注意を喚起した。総代からは、走行上の危険運転とか速度などについて苦情は今現在では聞いていない。危険運転など、当然交通事故の心配もあるので、

話があれば、企業庁へ即時対処するように申し入れはしたい。

質問

稲沢三宅地区の工業団地として13.5ヘクタールで、企業立地予定は数社決まっている。完成後、勝幡周辺の道路の整備計画があるのか。

経済建設部長

勝幡駅周辺の道路整備については、現在整備を進めている。駅西の踏切の両側の取り付け道路については建設課で、都市計画道路関係について

では、都市計画課の方で整備を進めている。そして、来年度以降の新たな道路整備については、勝幡駅前の完成後のロータリーから東の幹線道路までの間については、勝幡小学校プールの南東角までの道路整備を進める予定をしている。このほかの道路整備計画については、現在のところはない。

質問

県道稲沢・津島線に、歩道設置を県へ求めるべきで、今

後どのような計画か。また、小津橋の耐震補強が必要と聞くが、工事の時期と方法は。

経済建設部長

歩道設置については、以前にも同様の話があったかと思うが、県は、財政的なことから、道路整備などについては緊急性、重要性、事業効果などを考慮しながら進めていく。小津橋の耐震補強は、本年度、耐震のための詳細設計を実施し、工事については、来年度以降になる。

質問

市として現在、企業誘致の計画があるか。

経済建設部長

弥富インター周辺地区を、産業ゾーンと位置づけている。現在、基盤整備で2路線整備しているのも企業誘致のためである。

今後、庁舎内において、企業に来てもらうための優遇措置なども考えていきたい。関係課にも参加してもらい勉強会なども計画し、企業誘致の推進に取り組んでいく。

質問

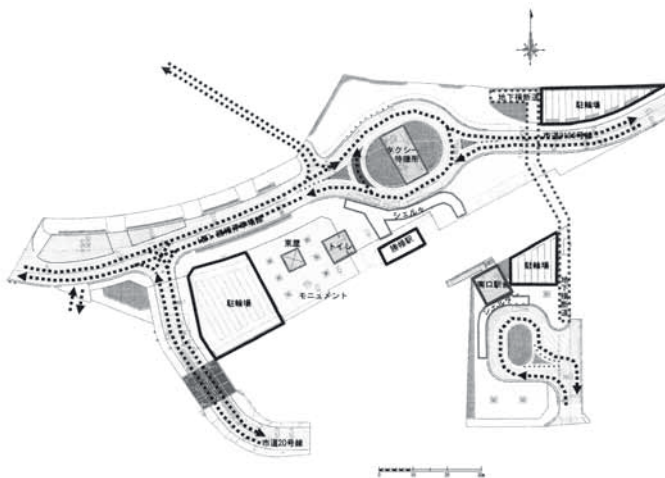
広域農道は農業関係の道路で、問題が発生するのでは。

経済建設部長

完成後、市道として位置づける。

その他の質問

- ・高齢者対策について
- ・市民の交通安全環境について



勝幡駅計画平面図